

公式記録

大会名: JFA第46回全日本U-12サッカー選手権富山県大会 決勝戦【72】

日時		2022年10月30日(日) 13:00		試合形式		40分 延長10分 PK方式		会場名		五福公園陸上競技場										
天候		晴れ		気温		19℃		湿度		48%										
風		微風		ピッチ状態		観衆数		1000人												
マッチコミッショナー		澤崎 謙一		主審		木村 将也		予備審		上野 博行										
芝		良芝		記録担当		表面														
(ホームチーム)				1				前半				0								
				0				後半				0								
住吉サッカースポーツ少年団								延長前半												
								延長後半												
■ KICK OFF								PK				KICK OFF □								
交代		シュート		得点		選手名		番号		位置		選手名		得点		シュート		交代		
No.	OUT時間	後	前	計											計	前	後	OUT時間	No.	
						安孫子 承太郎	1	GK	GK	1	小出 士瑛									
			2	2		折川 翔真	2	FW	FP	2	丹波 睦稀									
						杉田 翔	4	DF	FP	4	宮崎 南斗									
						金成 達夢	5	MF	FP	5	濱田 遼空									
						大沢 有央	6	FD	FP	7	岡田 眺希	1	1							
						五十嵐 鳳翔	7	DF	FP	8	木村 友哉									
						嶺乗 暁	8	MF	FP	9	石倉 玄梧									
						松山 真悠	9	FD	FP	11	舘 空我									
						金本 昊喜	10	MF	FP/GK	12	小幡 陸斗									
			3	1	4	1	山根 仁睦	11	DF	FP	13	尾近 優太	1	1					32	15
							狛澤 侑士朗	12	GK	FP	14	影山 優杏								
							向井 嘉人	13	MF	FP	15	角丸 颯佑								
							架谷 仁太	14	FW	FP	16	齋藤 与	1	1						
							伊丹 遥都	15	MF	FP	17	辻口 緒斗	1	1					36	12
											27	高見 剣丈								
警告・退場・グリーンカード				監督				監督				警告・退場・グリーンカード								
				寺田 冠				野田 浩之												
				延後 延前 後半 前半				チーム合計				前半 後半 延前 延後								
				5 3 8				シュート				2 2								
				5 1 6				GK				5 1 4								
				1 2 3				CK				4 1 3								
				4 0 4				直接FK				5 2 3								
				4 1 5				間接FK				2 0 2								
				2 0 2				(オフサイド)				3 1 2								
				PK																
得点時間	得点チーム	No.	得点者		スコア	得点経過	記録例: ~ドリブル、→ゴロパス、↑浮き球パス、×混戦、Sシュート、Hヘディング													
9分	住吉	11	山根 仁睦		1-0	CK4 ↑ H11														

【試合時間】

【備考】

10月30日(日)、富山市五福公園陸上競技場でJFA 第46回全日本U-12サッカー選手権富山県大会決勝戦が行われた。対戦カードは魚津市の住吉サッカースポーツ少年団とJ3カタレ富山の下部組織にあたるカタレ富山U-12となった。両チームともU-12リーグの成績により3回戦シードからのスタートとなるチームである。お互い決勝戦まで無失点で勝ち上がってきたチーム同士の対戦となった。

試合はお互いボールを保持することを得意とするチームであり立ち上がりはカタレ富山が⑦岡田を中心にボールを動かしながら両サイドの⑬尾近や⑮角丸を使いながらタイミングをみて1トップに入った⑫小幡へ縦パスを入れリズムを掴もうとする。試合開始後のファーストシュートは⑦岡田が放つが住吉のGK①安孫子が阻止する。対する住吉は立ち上がりはカタレにボールを持たれていたが、ボール保持者にプレッシャーをかけカタレのミスを誘う。カタレの縦パスに対して住吉の⑦五十嵐が積極的にボールを奪いに行き自由を奪う。その際、④杉田のコーチングが際立つ。住吉は徐々に⑩金本や⑨松山がセカンドボールへの反応も早くなり、ペースを掴むことに成功した。前半も中盤に差し掛かる9分に住吉はコーナーキックを獲得。キッカー④杉田の精度の高いボールから⑪山根が打点の高いヘディングで先制点を決める。その後一進一退の攻防が続き前半を終える。

後半もお互いボールを保持しながら前進を試みる。後半4分カタレが得点機を迎える。サイドを突破した⑮角丸のクロスに対し中で⑫小幡、⑬尾近が潰れて、反対サイドから駆け上がってきた⑫高見が再びクロス。再度、小幡が合わせようとするも合わず。住吉はそのゴールキックからの流れで得たフリーキックで、再び④杉田から⑪山根へと合わせる。ボールはバーを越えるが絶好の得点機会であった。その後もカタレはGK①小出、⑩齋藤、④宮崎からビルドアップを試みるが住吉の⑧嶺乗、⑬向井が粘り強い守備をみせ、サイドに追い込まれボールを失う場面が多くなった。カタレがこのゲーム最初の交代カードを切る。⑮角丸に代えて、⑭景山を投入。サイド攻撃の活性化を図る。住吉は直後に相手ペナルティエリア内で間接フリーキックを得るが決めきれず。カタレは1トップに⑰辻口を投入。終盤にかけてもサイド攻撃を繰り返す。住吉は①安孫子、⑦五十嵐を中心に最後までゴールを守り切り、試合終了。

住吉が1-0でカタレを破り、初の全国大会出場を決めた。カタレは現6年生が1期生であり、最高学年が揃った状態として臨んだ最初の全日本U-12選手権であったが残念ながら準優勝という結果となった。ただ、今後も富山の少年サッカーを引っ張っていく存在になるであろうと思われる。住吉サッカースポーツ少年団は初優勝となった。12月に鹿児島県で行われる全国大会に富山県代表として1試合でも多く戦ってほしいと思う。